

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について  
病虫害発生予察注意報第 3 号を送付します。

令和 5 年度病虫害発生予察注意報第 3 号

## 病虫害名 ハスモンヨトウ

1. 対象作物 露地野菜類、施設野菜類、花き類など
2. 発生地域 県下全域
3. 発生時期 8 月下旬以降
4. 発生状況と注意報の根拠
  - 1) 8 月上旬に県内 10 地点で実施したハスモンヨトウ卵塊調査では、サトイモ 50 株当りの平均卵塊数は平年値を大きく上回り、特に県東部、西部では過去 10 年で最も多い発生となっている（表 1）。また、フェロモントラップにおける 8 月第 1～2 半旬の誘殺数は、5 地点とも平年を上回っており、中でも安芸市、香南市では平年の 2 倍以上の発生が見られる（図 1）。
  - 2) 四国地方の向こう 1 か月の気象予報（8 月 17 日高松地方気象台発表）では、平年と同様に晴れの日が多く気温は平年よりも高いと予想されており、本虫の増殖に好適な条件が継続することから、発生は更に増加すると考えられる。
5. 防除対策
  - 1) 卵塊（写真 1）や孵化幼虫（写真 2）による食害のある葉は早めに除去する。
  - 2) 施設栽培では、ハウスサイドや天窓に防虫ネット被覆を行うなど成虫の侵入防止に努める。
  - 3) 老齢幼虫になると食害量が多くなるとともに薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除に努める。また、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避ける。薬剤の選定にあたっては、県の「病虫害防除指針」（<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/kochi>）を参照し、農薬使用基準の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策を徹底する。



写真 1 ハスモンヨトウ卵塊



写真 2 孵化直後の幼虫

表1 高知県下のサトイモにおけるハスモンヨトウの卵塊調査(50株当たり)

調査地点	調査年	平年値	令和5年(2023)		令和4年(2022)		令和3年(2021)		令和2年(2020)	
			調査日	卵塊数	調査日	卵塊数	調査日	卵塊数	調査日	卵塊数
東部	安芸市 川北	2.9	8/9	10.0	8/5	12.0	8/11	4.0	8/7	4.0
	安芸市 伊尾木	1.2	8/3	15.0	8/5	5.0	8/11	0.0	8/7	0.0
	安芸市 土居	3.8	8/3	32.0	8/5	7.0	8/11	1.0	8/7	11.0
中央部	越知町 今成	1.4	8/7	0.5	8/8	0.0	8/4	2.0	8/11	5.5
	いの町 枝川	0.6	8/7	0.0	8/8	2.5	8/4	1.0	8/11	1.0
中西部	須崎市 上分	1.6	8/3	5.0	8/5	1.0	8/6	0.0	8/3	7.0
	津野町 三間川	0.3	8/3	0.0	8/5	0.0	8/6	0.0	8/3	3.0
	中土佐町 上ノ加江	4.3	8/3	0.0	8/5	0.0	8/10	0.0	8/13	3.0
西部	四万十市 鍋島	1.2	8/4	3.5	8/5	0.5	8/11	0.5	8/7	0.0
	四万十市 間崎	1.2	8/4	5.5	8/5	1.0	8/11	0.5	8/7	0.0
平均		1.8		7.2		2.9		0.9		3.5

注1) 平年値は過去10年(平成25年~令和4年)の平均値を示す

注2) 調査地点変更: 安芸市伊尾木(令和2~4年は同市僧津、令和元以前は同市黒鳥で調査)

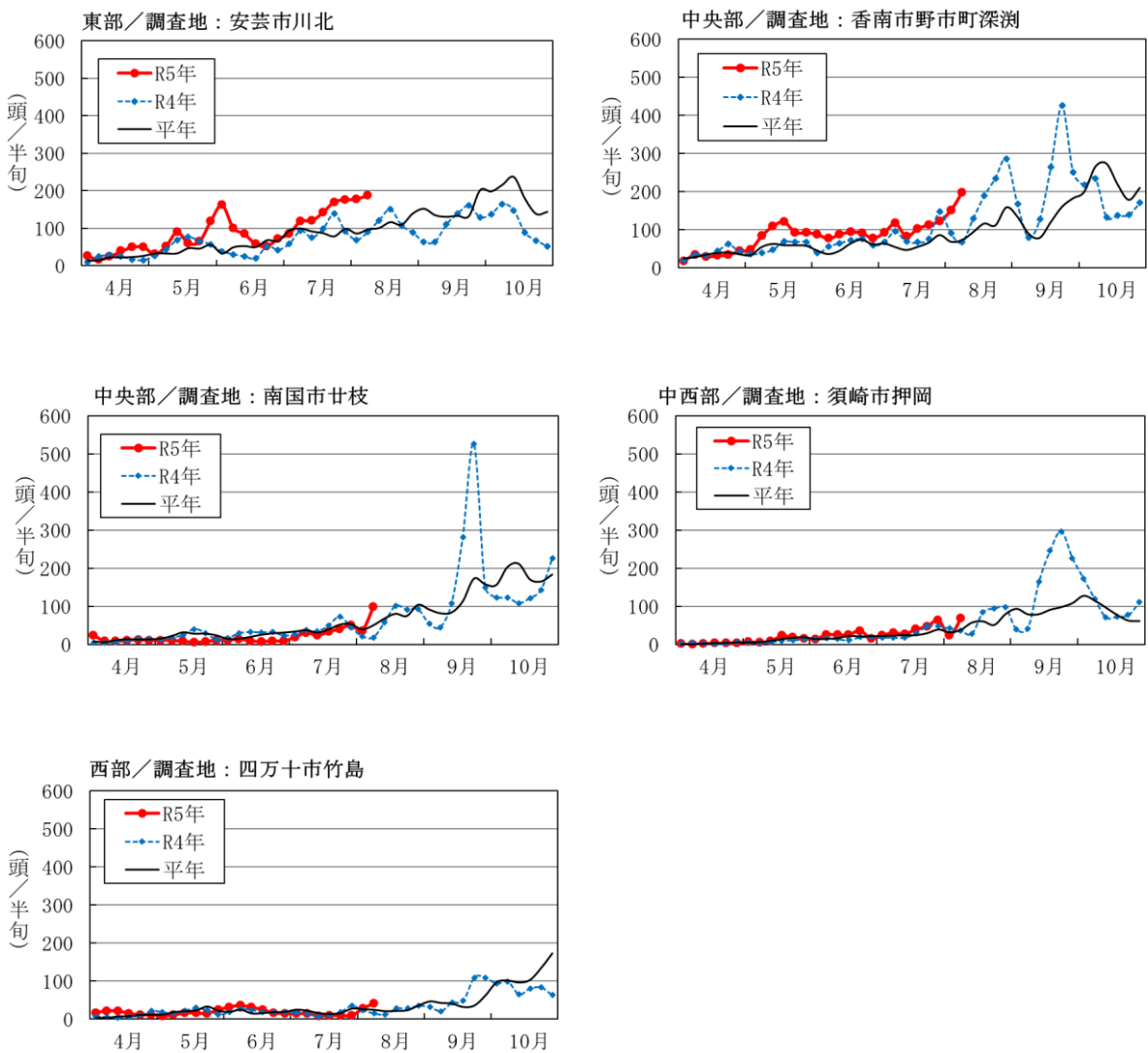


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ誘殺数

お問合せは、環境農業推進課(TEL: 088-821-4861)または病害虫防除所(TEL: 088-863-1132)まで